

学校教育目標

折尾西地域のもつ特性をもとに、「知・徳・体の調和のとれた自主的精神に満ちた心豊かな子」の育成に努める。

きずな

学校だより 第10号

令和5年12月5日

北九州市立折尾西小学校

校長 木下 経之

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

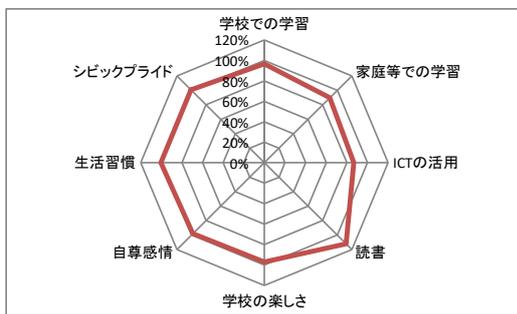
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）
国語	基礎的・基本的な力がついている児童が多く、特に「知識・技能」の中の『言葉の特徴や使い方に関する事項』が優れている。
算数	基礎的・基本的な力がついている児童が多く、特に「数と計算」の領域が優れている。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
・学校の授業以外にも読書をしている児童が多く、「読書は好きか」との問いに対して約80%の児童生徒が肯定的に回答している。
・主体的・対話的で深い学びや個別最適な学びが、児童生徒の自己有用感等に影響を与えている可能性があるため、今後も学校全体で授業改善を進め、児童が「わかった」「おもしろい」と思える授業にすることが必要である。
・「学校での学習においてICTを活用している」と回答した割合が低かった。今後は、個に応じた指導の場面や、英語の学習等でも活用できるように啓発していく。
・「家で自分で計画を立てて勉強している」「普段、学校の授業以外で1時間以上学習している」と回答した割合が低かった。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

・考えたことや調べたことを自分の言葉でまとめ、それを他者に伝え、認め合う活動を多く取り入れる。また、そのために、ICTを活用する機会を増やす。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・考えたことや調べたことを自分の言葉でまとめることができる「自主学習ノート」を活用し、学習を深める取組をこれからも継続する。その際、まとめ方を指導したりよいノートを紹介したりして、どの児童も積極的に取り組むことができるようにサポートする。